

2015年1月19日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル  
株式会社KMO

グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」  
世界最高峰のクリエイティブ・文化機関「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーション第二弾

KNOWLEDGE  
CAPITAL

ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL vol.02



HYBRID Living in Paradox アート×生命科学の探求展

**世界最先端！「細胞」や「遺伝子」の研究を取り入れたアート作品が登場**

開催日：2015年1月29日(木)～4月19日(日)

開催場所：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル「The Lab. みんなで世界一研究所」2階

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社 KMO(代表取締役社長:間瀬 豊)は、オーストリア・リンツのクリエイティブ・文化機関「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーション第二弾「HYBRID Living in Paradox アート×生命科学の探求展」を、2015年1月29日(木)から2015年4月19日(日)まで、グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル「The Lab.みんなで世界一研究所」にて開催します。

今回のコラボレーションでは、『世界最先端のアート・研究に触れ「生命を考える」』をテーマに、2組の世界的アーティストが参加します。「バイオアート」の世界的拠点であるシンビオティカ(SymbioticA※1)所長のオロン・カツツ氏、遺伝子組み換えなどのバイオテクノロジーの発展が社会に与えるインパクトを探求する、福原志保氏ら BCL(ビー・シー・エル)※2。

両アーティストの作品を「The Lab. みんなで世界一研究所」で展示します。本展示を通じて、「細胞」や「遺伝子」がアート作品としてどのように取り入れられ、私たちの生活や社会と「バイオアート」がどのように関わっているのかをわかりやすく探求することができます。

また、この2組のアーティストのほか「アルスエレクトロニカ」からマーティン・ホンツィック氏(フェスティバルディレクター)、小川秀明氏(アーティスト、キュレーター、リサーチャー)が来日し、1月29日(木)から31日(土)の3日間、展示作品のレクチャーやトークセッション、ワークショップなどユニークなスペシャルプログラムを展開します。

ナレッジキャピタルでは、世界的アーティストたちとのコミュニケーションの機会を提供し、今回の作品展示とプログラムを通じて「生命とは何か」を皆さんと語り合う場を、構築してまいります。



※1: 2000年に設立された西オーストラリア大学の生命科学とアートを同時に扱う研究室

※2: 2004年に福原志保氏とゲオルグ・トレメル氏がイギリスにて科学、アート、デザインの領域を超えたコラボレーションを行うアーティストグループとして創設。

以上

**ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL について**

「アルスエレクトロニカ」は、アートとテクノロジーを融合したインタラクティブ表現「メディアアート」等を展示する施設「アルスエレクトロニカ・センター」をオーストリア・リンツで運営しています。ナレッジキャピタルでは「アルスエレクトロニカ」と開業前から交流を持ち、ナレッジキャピタルのコンセプトにある「感性」に重要なクリエイティブ面での国際連携を推進しています。

2014年11月からは「ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL Vol01」として CODE:「私たちの時代の言語」展を「The Lab. みんなで世界一研究所」で1月25日まで開催しています。今後も、国内外のトップアーティストが参加する先品展示やワークショップを定期的に行い、「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーションを深化させる取り組みを行っていきます。

## 【参加アーティスト】

### ① オロン・カツ(Oron Gatts)氏プロフィール



アーティスト、研究者、またキュレーターとして、組織培養とアートを組み合わせた作品でバイオリジカル(生物)・アート分野をリードしてきた。2000年に設立された西オーストラリア大学の生命科学とアートを同時に扱う研究室であるシンビオティカ(SymbioticA)の共同設立者であり、所長を務める。カツ氏主導のもとシンビオティカは2007年プリ・アルスエレクトロニカのハイブリッド・アート部門、ゴールドニカ(最優秀賞)を受賞。2008年西オーストラリア州プレミアサイエンスアワードを受賞、同年オーストラリア政府によって「Centre for Excellence」に認定される。カツ氏の興味は「生命」～その新しい知識と使い方～によって引き起こされる関係性と認識のシフトにある。

積極的に他のアーティスト・科学者とコラボレーションを行い、生命の進化における新しい文化的発見を探るべく研究を続けている。

#### ◆展示作品(予定)

##### Better Dead Than Dying (2014)

フラスコの中を覗き込むと、女性のシルエットにかたどられた「細胞」が見えます。この細胞の名は HeLa(ヒーラ)細胞。世界初の不死化したヒト由来の細胞で、1951年に子宮頸癌で亡くなったヘンリエッタ・ラックス氏の病変から分離され、世界中の研究室で新薬の発明などに幅広く用いられている実験細胞です。ラックス氏自身は既に亡くなっていますが、彼女の細胞は世界中で生き続けています。この作品は、HeLa細胞をラックス氏のシルエットの構造体に繁殖させていますが、やがてその細胞自らが作り出す「ごみ」が環境を悪化させ、時間をかけながら死滅してゆきます。この作品のタイトル *Better Dead Than Dying* (死にかけたら死んだほうがましだ)は、科学の発達により拡張される「生」と時にその成果としてある不自然な「生」の両面性を表現し、「生きていること」と「死ぬこと」の境界は何なのかという疑問を作品を通して投げかけています。



※作品タイトルは、「テクノロジーの進化の危険性と身体とテクノロジーの関係を詩的に探求した」サミュエル・バトラーによる19世紀イギリスのSF小説「エレフオン Erehwon」から引用されている。

### ② BCL(福原志保氏、ゲオルグ・トレメル氏、吉岡裕記氏)プロフィール



2004年に福原志保氏とゲオルグ・トレメル氏(Georg Tremmel)がイギリスにて科学、アート、デザインの領域を超えたコラボレーションを行うグループとして「BCL」を創設し活動を始める。2014年に吉岡裕記氏が参加。2007年に活動拠点を東京に移し、インターコミュニケーション・センター(ICC)やアルスエレクトロニカなどの国内外の美術館やギャラリーで展示やワークショップを行う。バイオテクノロジーや水環境問題に焦点を当てた作品を多く制作し、作品やプロジェクトを通して現センターで開催された合成生物学とアートをテーマにした「プロジェクト・ジェネシス(創世記)」展で「Common Follower/White out」を出展。センター内にあるバイオ・ラボでアーティスト自ら遺伝子を組み替えたカーネーションの組織を展示し、大きな反響を呼んだ。

#### ◆展示作品(予定)

##### Common Flowers / White out (2009 -)

コンテナの中で培養されているのは、青いカーネーションの茎をクローン栽培しているもの。この市販化されている青い花は、本来白い色をしたカーネーションに他の花から取り出した青い色素の遺伝子を組み入れることによってつくられた遺伝子組み換え作物です。*Common Flowers / White out*はその青い遺伝子部分を取り除いて「白いカーネーションを創り出す」プロジェクト。遺伝子操作技術は、自然とは異なる過程で、人為的に「新しい種」を創造します。このプロジェクトで生まれる、白くなったカーネーションは、もともと自然界にある白いカーネーションと同じものなのでしょうか。



## アルスエレクトロニカ(ARS ELECTRONICA)とは



Photo: Nicolas Ferrando,  
Lois Lammerhuber

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディアアートの世界最高峰の機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、美術館・科学館としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、日本からも多くのアーティストが参加している。

### 【アルスエレクトロニカからのスペシャルワークショップゲスト/1月29日(木)~1月31日(土)】



#### ■ マーティン・ホンツィック氏プロフィール

メディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」のディレクター。毎年リンツの街のさまざまな場所にスポットを当て、街のひとを巻き込みながらフェスティバルを作り上げる。2015年9月のフェスティバルも着々と準備中。

#### ■ 小川 秀明氏プロフィール

アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ所属。アルスエレクトロニカ・センター新館オープンに携わった後、アーティスト、キュレーター、リサーチャーとして活躍中。



### 【イベント開催概要】

名 称 : HYBRID Living in Paradox アート×生命科学の探求展  
期 間 : 2015年1月29日(木)~2015年4月19日(日)  
開催時間 : 10:00~21:00  
会 場 : グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル「The Lab. みんなで世界一研究所」2階  
入 場 料 : 無料  
主 催 : 一般社団法人ナレッジキャピタル  
展示協力 : 株式会社イーケイジャパン  
スペシャルアドバイザー: 岩崎秀雄教授(早稲田大学理工学術院教授/metaPhorest 主宰)

### 【スペシャルプログラム開催概要】

- 1日目 【オープニングイベント】 定員:50名**  
2015年1月29日(木) 18:30~21:00 終了予定(パーティーのみ有料)  
ゲストアーティストによる作品展示レクチャー とパーティー(場所: TheLab.2階)
- 2日目 【トークセッション】 定員:50名**  
2015年1月30日(金) 18:00~21:00 終了予定(参加費無料)  
ゲストアーティスト達とアルスエレクトロニカのメンバーによるリレー・プレゼンテーション  
(場所: ナレッジサロン プレゼンラウンジ 7F)
- 3日目 【ワークショップ】 定員:20名**  
2015年1月31日(土) 14:00~17:00 終了予定(参加費無料)  
「『発育する細胞』とアートとデザインの未来」をテーマに、オロン・カツ、アルスエレクトロニカメンバーと、バイオアートとデザインの未来を語り合います。(場所: ナレッジサロン プレゼンラウンジ 7F)

### スペシャルプログラム参加申し込み方法

上記3日間のスペシャルプログラムは、ナレッジキャピタルホームページから事前にWEBでの登録が必要です。

※定員に達し次第、受付申し込みは終了いたします。

※ナレッジサロンで行うプログラムは、18歳以上の方の参加に限らせていただきます。

ホームページ…<http://kc-ijp/arsinkc/index.html>